

インターハイで躍動

今夏、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が、39年ぶりに岡山県を主会場として開催されました。朝日高生は、競技・開会式・運営補助と各方面で活躍しました。

全国入賞

競技には、陸上競技（岡山市7/29~8/2）の女子走高跳（2名）、空手道（山口県長門市7/30~8/2）の男子個人組手、競泳（広島市8/16~8/20）の男子50m自由形に計4名が出場しました。陸上女子走高跳の中野愛梨さん（3年）は、後輩部員や同級生の声援を受けて、全国の強豪を相手に渾身のジャンプ。昨年の9位から、見事第5位入賞を果たしました。また、競泳男子50m自由形の房野泰知君（3年）は、この種目岡山県勢初の決勝進出で第7位に入賞しました。他の選手もそれぞれ健闘し、「岡山朝日」を全国に知らしめてくれました。



総合開会式

7月28日（木）、ジップアリーナでの総合開会式でも、朝日高生は大活躍でした。選手団入場のあと、多

くの挨拶・祝辞のしめくりが、高校生代表の歓迎のことばです。「岡山県高校生活動推進委員会」の委員長を務めた來住樹生君（3年）が、大人たちにひげをとらない堂々としたスピーチをしました。

合同の音楽隊には管弦楽部から52名が参加して中核を担い、『威風堂々』の演奏が会場を盛り上げました。公開演技では、演劇部員（9名）の語りと、ダンス部員（18名）の導入演技でスタート。参加選手の心情を想像して作った台詞と振り付けで、公開演技全体の流れを作っていました。



皇太子殿下と・・・

裏方としても多くの生徒が参加しました。大会運営本部から学校ごとに係の割当てがありますが、朝日高生が担当したのは案内係や招待係・特

別接伴係でした。VIPのおもてなしをそつなくこなしたようです。特に皇太子殿下の御休憩室の担当になった生徒は貴重な経験をしたと思います。殿下のお部屋には生徒だけしか入れなかったそうで、お声をかけていただいたようですが、どんなお話をしたかは、殿下と生徒だけの秘密にしておきましょう。

多くのボランティア

陸上競技の「協力校」として、受付その他の運営補助業務に120人のボランティアの生徒が参加しました。昨年度にボランティア募集したのですが、すぐに必要な人数が集まりました。生徒たちは、エアコンのない武道館で黙々と仕事をこなしていましたが、全国から来た896校・3229人の選手を受付け、IDカードなど必要な物品を渡していくのに、マニュアル通りでなく自分たちで効率的なやり方を工夫したということでした。さすが朝日高生。

多くの生徒が高校生のスポーツの祭典に関わり、いい思い出を作ってくれたようです。



昭和31年卒 卒業60周年記念 講演会とコンサートのつどい

朝日高昭和31年卒業生の60周年を記念して、米テンプル大学日本校のブルース・ストロナク学長をお招きし、7月22日に岡山市民会館で講演会を行いました。参加した在校生約700人と31年卒業生を前にストロナク学長は「単に国外へ出て行く人ではなく国内外で誰とでも対等に付き合える人にならなくてはならない。そのためには言語の習得や留学などの経験などに加え、熱意と自分への自信が必要だ。」とメッセージを送りました。この後のコンサートでは、高橋昌子岡山大学大学院教授が演奏家の大石邦子さんのピアノ伴奏で、美しいソプラノを御披露頂きました。（昭31卒 林 とし子）

